

例会報告

第2645回例会報告議事録

日時 令和3年7月20日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：米山奨学生 呂蘇幸さん

ビジター：グエン・ビック・フォンさん

S.A.A.：米田友義

会長挨拶

依田会長



まず、戦略会議と会長幹事会の報告をさせていただきます。
戦略会議は、本年度会長幹事の私と柳田幹事、次年度会長幹事の藤本エレクトと、日暮会員はお休みで、前年度会長幹事の村越会員、倉持会員の五人で開催しました。

クラブの3年後、5年後、10年後を見据えた計画を立てるということで話し合いました。

我孫子クラブはまとまりがあつていいクラブですが、現在32名を35名くらいがいいのではないかと、少しずつ会員増強をはかっていこう、と話しました。

奉仕事業は地域の奉仕から国際奉仕を見据えた計画を作っていこうと話しました。3年度、5年後、と長い期間で計画を立てようと話しました。

7月13日に行った会長幹事会では地区のグループ再編について議題が上がりました。前回は周知されておらず混乱したので、情報を少しずつ共有しながらクラブ再編をするとのことでした。

再編といっても、4つのグループに分けて、その4つの中でガバナー補佐を選んで、そこでガバナーと話し合いをしていくという組織にしていきたいという話でした。A案、B案ということで、グループの組み合わせが資料に書いてあります。まだ決定ではなく、現在、話し合いがされています。

米山の奨学金寄付の件で発表がありました。我孫子は昨年一人平均13,375円の寄付が集まりました。皆様のご好意で寄付をいただき大きな資金になったということです。今後よろしくお願ひいたします。

コロナの蔓延がまた始まりました。ZOOMについて少しお話したいと思います。今は提案から契約までオンラインでズームで行うシステムを作っており、私もズームの契約を行なっています。

一般の方もズームを使えるので、受け入れていただきやすいです。信頼関係のないところでは違和感が出ますが、いつも会っている仲間や遠方のお客様だと、とてもいいです。が、最終的には人と人とのコミュニケーションですので、会ったりして共に時間を過ごして初めて、オンラインでできればいいかなと思います。例会にどうしても参加できない場合などでも、ZOOMをぜひ使っていたいで参加していただきたいと思います。

我孫子のことをちょっと話したいと思います。

リュウゼツランをご存知でしょうか。60年に一度花が咲くというので今朝、見に行ってきました。10メートルくらいあり、花が終わると枯れてしまうそうです。

今日は米山奨学生の呂君の卓話があります。呂君とちょっと仲良くなって、我孫子ロータリークラブの一員として一緒に時間を過ごせたらと思っています。よろしくお願ひします。

豊原RCからお返し品の品をいただきました。

親睦委員会報告

上村英生委員長



昨年に引き続き、カップ音頭がないということで、なかなか親睦事業をできない状況ですが、コロナの状況を見据えながらなんとか親睦事業を計画していきたいと思ひますので、その際はよろしくお願ひします。

出席委員会報告

日暮委員長



22名(出席免除者含む)出席(全員で32名)出席率68.75%
業務による欠席：荒井会員、梶会員、齋藤会員、三枝会員、寺井会員、
服部会員、福武会員、柳田会員、湯下会員。

ご挨拶

昨年度米山奨学生 グエン・ビック・フォン様



卒業してもこちらに来るチャンスをくださって、本当にありがとうございます。皆さんお元気そうなので、すごく嬉しいです。今日は呂君の卓話も楽しみにしています。よろしくお願いします。

我孫子スポーツ振興応援団

藤本会員



先週の13日に我孫子市商工会で総会がございました。令和2年の総会はできませんでしたので、令和元年と令和2年の収支決算報告と今年度令和3年の予定について報告があり、信任が通りました。

先だってお伝えした通り、中央学院大さんとNECグリーンロケッツさんの活動報告がありました。NECグリーンロケッツさんは新しく地域に溶け込んだ事業をされるとのことですので、各任意団体のところへ事務局の方と現役の選手の方が挨拶に来られるそうです。我孫子クラブに来られる際は皆さんどうかご参加のほどよろしくお願いします。

幹事報告

倉持会員（代理）



・柏南RC、柏東RC、流山RCより活動計画書受領。
ご覧になりたい方は事務局までお声がけください。

卓話

米山奨学生 呂 蘇幸さん



米山奨学生の呂 蘇幸と申します。今年4月から我孫子クラブでお世話になっています。

私は中国、雲南省のクンメイという所の出身です。今日は卓話をさせていただいて誠にありがとうございます。

日本に留学してから4年がたち、現在、東京大学の新領域創成科学研究科で博士2年として在籍しております。

今日はこの貴重な機会をもって、自己紹介させていただきたいと思います。内容としては故郷、家族、趣味に関して等お話したいと思います。

私の実家は中国、西南部に位置する雲南省、クンメイです。東京から飛行機でおよそ4時間です。冬は暖かく、夏は爽やかで春城と呼ばれています。クンメイ1年間の平均気温は約20度で居心地のよい所です。山と池に囲まれ自然の美しさが抜群です。

クンメイは中国で少数民族人口が一番多いところです。このような所で育てられ幸せだと思います。

そう思うのは人だけではなく、毎冬、遠いシベリアから約4万羽のユリカモメがやってきます。厳寒のシベリアより暖かく優しいクンメイの冬はユリカモメにとって最も居心地の良いところです。この話はNHKの「ドキュメント72時間」というドキュメント番組でも放送されました。

私は1994年生まれで最初の6年間は両親と一緒に水力発電所にいました。その時、両親は発電所に務めていました。小学校の頃、私の教育のことを考えて、母は転職しました。それから山の中の発電所からクンメイに引っ越し、市内の小学校に登校しました。父は引き続き水力発電所に務め専門職として頑張っていました。父の仕事の影響で家族が集まる時間は短かったです。

父は雲南の地域にたくさん貢献しました。雲南省内の大型水力発電所の設計、建設は父が出した力の痕跡です。

両親がエンジニアですので、理系的な家族です。子供の頃に母に自分は将来、博士や研究者になりたいと話しました。現在、博士になるために頑張っています。

高校ももちろん理系を選びました。自分は、挑戦を楽しみ、もの作りが好きで、未知な世界を開拓したい人と定義できると思います。

(次ページへ続く)

最近、山登りに凝っています。そんなに高くない山に挑戦していましたが、毎日トレーニングをして、博士を卒業して雪山を乗り越えられたら、人生のひとつの夢がかなうことになります。

もう一人の家族を紹介させていただきます。高校生の時から8年間飼っていた猫です。今では亡くなってしまいましたが、大切な家族の一員でした。

重慶郵電大学という大学で勉強しました。専攻は工学ナノ科でした。学部2年の時に自動運転を研究する先生が学生を募集していたので応募し、選んでいただきました。卒論もこの先生の手で完成しました。

コンピュータービジョンという機械に人間的な視覚をつける技術に応用して、道路で監視カメラの稼働によって車両を検知するシステムを開発できました。これで日本への連絡を進めました。

2016年に早稲田大学への短期交換留学の機会があり、プロジェクトに参加しました。短かったのですが、日本の文化や大学の教育を体験して、日本への留学を決めました。それから日本語を勉強しました。

私はもっと自然に近づきたいと考え、農業工学院に行こうと考えました。結果として北海道大学の農学院のビークルロボティクスという研究室に志望を出しました。このビークルロボティクス研究室はすごく有名な研究室です。池井戸潤さんの小説「下町ロケット」の主人公が学術問題を解くために、協力を求めたのがビークルロボティクス研究室の野口先生でした。北海道にいた2年間は研究もいっぱいし、楽しかったです。北海道の豊かな大自然の美しさに憧れています。今でも北海道は第二の故郷だと思っています。

産業ドローンの勉強を経て、会社の開発者の人と一緒に新しいドローンのセンサーを開発できました。農業自動化、知能化を目的として時空間データの形跡が不可欠の一部だと認めています。研究を深めつつ、時空間転換の魅力に憧れました。そのため志が変わり、東京大学の空間科学情報センターに進学しようと思いました。入学した時は大変でしたが、一生懸命がんばっています。

まだ卒業まで1年くらい残っていますが、将来どうするか正直なところ迷っています。企業の研究職を目指すのか、大学の先生を目指すのか将来の道がはっきり見えていないです。しかし、社会に貢献できる人になりたい、未知の世界を開拓したい、家族を大切にしたい、そういう人間になりたいと思います。この信念をこのまま持っていけば良いかなと思っています。

ご視聴ありがとうございました。

Q: SDGsについてどう思われますか。

A: これも今、新領域の中で研究が行われていることです。人間が生産するためには必ず自然を破壊することがあり、SDGsにとって良くないので、私たち研究者たちは、できる限りバランスを取りたいと思っています。一体どれくらいの技術生産を開発できれば、自然と人間がバランスが取れるのかを考えています。すべての生産は遠い未来からみれば地球や環境に優しくSDGsを考慮する方がいいと思います。

閉会の言葉

依田会長

来週はガバナー公式訪問になります。必ずご参加くださいますようお願いいたします。例会時間は通常通りで12時15分から始まり、その後クラブ協議会を1時40分から1時間行います。

例会を閉会いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
依田会長	呂蘇幸さん、卓話ありがとうございます。 夢に向かって頑張ってください。	1,000円
石原会員	呂さん、志高く素晴らしいです。頑張ってください。	1,000円
今井会員	米山奨学生 呂蘇幸さん、卓話ありがとうございました。	1,000円
上村文明会員	呂蘇幸さん、卓話ありがとう。 地球にやさしい研究して下さい。	1,000円
上村英生会員	呂さん、勉強頑張ってください。	1,000円
木村会員	呂さん、卓話有難うございました。	1,000円
倉持会員	呂さん、がんばってください。	1,000円
小池会員	呂さん、卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤雅教会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	呂君、卓話ありがとう！頑張ってください！！	2,000円
関根会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
瀧日会員	呂さん、卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	呂さん、2年間よろしくお願ひします。	1,000円
村越会員	呂蘇幸さん、卓話ありがとうございます。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		17,000円
今期累計		58,000円

今週の表紙「よもぎ庵」千葉県我孫子市南青山32番地3号

地元我孫子では、蕎麦屋の代名詞と言えるほど多くの人がうまいと絶賛するお蕎麦屋さんです。天王台駅から徒歩25分位の静かな住宅地にひっそりと佇んでいます。美味しいお蕎麦を求めて遠方から車で来る方もいらっしゃいます。立派な門構えで一見料亭のようですが、気さくなお店です。手入れの行き届いたお庭を眺めながらゆったりと落ち着いた時間を過ごせます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。